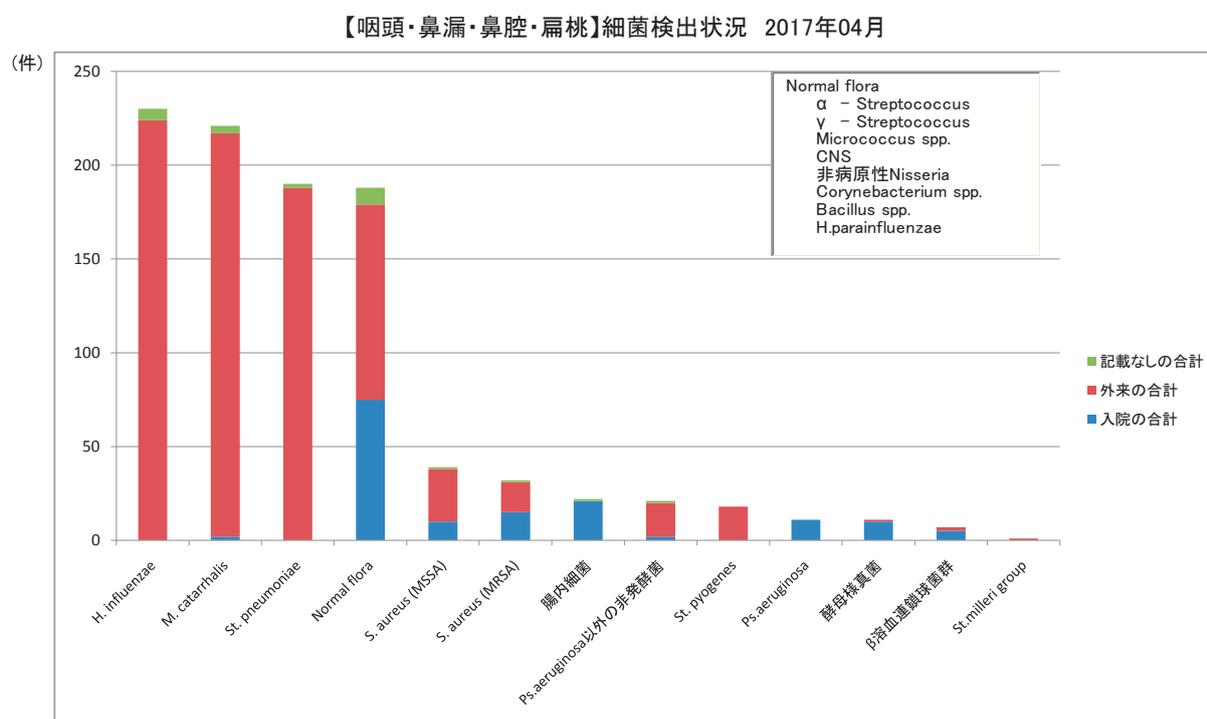


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

診断・治療にお役に立てるよう当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び細菌薬剤感受性情報を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せてご覧いただけたら幸いです。

今回は、【咽頭・鼻漏・鼻腔・扁桃】からの細菌検出状況と、その中でも3番目に多く検出されている *S.pneumoniae*（肺炎球菌）の細菌薬剤感受性情報を掲載いたします。

【細菌検出状況】



咽頭・鼻漏などの上気道感染症では、*H.influenzae*, *M.catarrhalis*, *S.pneumoniae* の3菌種の混合感染が多く見られます。*M.catarrhalis* の殆どの株はβ-ラクタマーゼを産生し、*H.influenzae* はβ-ラクタマーゼ阻害剤にも耐性を示す菌もあるため、混合感染の場合は抗菌薬の使用に注意が必要となります。また、耳漏からも *S.pneumoniae* は高い検出状況です。

【細菌薬剤感受性情報】

2017年4月分

アンチバイオグラム（S.pneumoniae）

系統	薬剤記号	商品名	%		
			S(感性)	I(中間)	R(耐性)
ペニシリン系	PCG	ペニシリン	100	0	0
	AMPC	サワシリン	99	2	0
セフェム・オキサセフェム系注射薬	CEZ	セファメジン	43	0	57
	CTM	パンスホリン	29	29	43
	CTR	ロセフィン	98	0	2
	CZOP	ファーストシ	67	0	33
	CFPM	マキシピーム	43	14	43
セフェム系経口薬	CPDX	パナン	95	5	1
	CFDN	セゾン	79	17	4
	CFPN	フロモックス	97	0	3
	CDTR	メアクト	98	0	1
	CFTM	トミロン	98	0	2
カルバペム系	IPM	チエナム	67	8	25
	PAPM	カルベニン	100	0	0
	MEPM	メロペン	43	14	43
	TBPM	オラベネム	100	0	0
その他β-ラクタム系	FRPM	ファロム	99	1	0
	ACV	オーグメンチン	100	1	0
	STC	ユナシン	96	2	2
マクロライド系	CAM	クラリス	15	11	75
	AZM	ジスロマック	5	5	90
	CLDM	ダラシン	57	0	43
その他抗菌薬	VCM	バンコマイシン	100	0	0
合成抗菌薬	LVFX	クラビット	97	0	3
	TFLX	オゼックス	98	0	3
	GRNX	ジェエナック	100	0	0

肺炎球菌の耐性菌は、ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）があります。ペニシリン耐性肺炎球菌のペニシリン耐性の基準は CLSI M100-S22 以降の標準法では検体が髄膜炎菌とそれ以外により異なります。髄膜炎からの分離菌は $PCG \geq 0.12 \mu\text{g}/\text{mL}$ 、非髄膜炎菌からの分離菌では $PCG \geq 8 \mu\text{g}/\text{mL}$ の場合にペニシリン耐性と判定されます。上記の肺炎球菌は非髄膜炎菌からの分離菌であり、判定が変更になったためペニシリン感受性肺炎球菌（PSSP）が多く検出されています。

当検査センターホームページでは詳細な情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>